

令和2年度事業報告書

〔 令和2年4月1日から
令和3年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

令和 2 年度 事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第 6 期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため実施困難な事業もありましたが、一部の事業では実施方法を変更するなど工夫をこらしながら、安定的な業務運営体制の確保に努め、事業に取り組みました。

2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

(1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

ア 主な維持管理施設等の概要

主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷 地 面 積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水 処 理 施 設 (施設能力 日最大)	6 系列 (306,150m ³ /日)	9 系列 (531,700m ³ /日)	3 系列 (105,648m ³ /日)	2 系列 (55,120m ³ /日)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	遠 心 2台 スクリュウ 2台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340 m
ポ ン プ 場	2箇所	6箇所	1箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 1.3 ha	扇町しらさぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「遠 心」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機
- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機

イ 下水処理

(ア) 流入下水道

相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水道量は、次表のとおりです。

流 域	処理場	流入下水道量 (m ³)		増減 (前年比%)
		令和2年度	令和元年度	
相模川	四之宮	83,499,650 (228,770)	86,316,360 (235,840)	△2,816,710 (96.7%)
	柳 島	151,364,630 (414,700)	153,183,560 (418,530)	△1,818,930 (98.8%)
	計	234,864,280 (643,470)	239,499,920 (654,370)	△4,635,640 (98.1%)
酒匂川	酒 匂	30,269,240 (82,930)	31,226,070 (85,320)	△956,830 (96.9%)
	扇 町	15,359,840 (42,080)	15,598,850 (42,620)	△239,010 (98.5%)
	計	45,629,080 (125,010)	46,824,920 (127,940)	△1,195,840 (97.4%)
合 計		280,493,360 (768,480)	286,324,840 (782,310)	△5,831,480 (98.0%)

(注)・流入下水道量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

・酒匂流域は、左右岸の相互運用後の数値を示す(扇町水再生センターへ444,690m³送水)

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

a 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	180	2.4	190	3.0	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	250	5.3	250	6.7	
	最小	110	1.2	150	1.6	
COD (mg/L)	平均	92	8.3	100	8.7	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	120	10	130	10	
	最小	52	5.6	74	7.0	
SS (mg/L)	平均	179	1.9	213	1.9	70 (50)
	最大	218	3.2	334	4.4	
	最小	110	1.0 未満	110	1.0 未満	
pH	平均	7.3	6.6	7.3	6.6	5.8~8.6
	最大	7.7	6.8	7.7	6.8	
	最小	7.0	6.3	7.0	6.4	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	150,000	10	460,000	95	3,000
	最大	390,000	41	2,200,000	450	
	最小	66,000	1 未満	70,000	7	

(注)・BOD は生物化学的酸素要求量、COD は化学的酸素要求量、SS は浮遊物質質量、pH は水素イオン濃度 (水素指数) を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、() は日間平均値 (1 日の平均の値) を示す。

b 酒匂川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	160	1.9	140	3.4	25 (20)
	最大	220	5.4	170	4.4	
	最小	98	1.0 未満	92	2.4	
COD (mg/L)	平均	90	7.2	83	11	25
	最大	130	8.6	100	13	
	最小	56	5.0	68	7.6	
SS (mg/L)	平均	153	1.0 未満	145	2.9	70 (50)
	最大	242	2.2	212	4.4	
	最小	90	1.0 未満	120	1.9	
pH	平均	7.4	6.5	7.4	6.8	5.8~8.6
	最大	7.8	6.7	7.8	6.9	
	最小	7.1	6.3	7.2	6.5	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	180,000	19	220,000	120	3,000
	最大	380,000	100	3,000,000	1,500	
	最小	64,000	1 未満	48,000	2	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

汚泥等は、次表のとおりです。

流 域	処理場	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和2年度	令和元年度	
相模川	四之宮	55,562	56,961	△1,399 (97.5%)
	柳 島	120,950	120,755	195 (100.2%)
	計	176,512	177,716	△1,204 (99.3%)
酒匂川	酒 匂	20,006	19,876	130 (100.7%)
	扇 町	7,466	7,936	△470 (94.1%)
	計	27,472	27,812	△340 (98.8%)
合 計		203,984	205,528	△1,544 (99.2%)

(注) 汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

※柳島、酒匂：流入下水量に対して、汚泥等発生量が増加した要因は、流入下水量に占める流入汚水量の割合が高かったため。

(イ) 焼却灰等処分量

焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流 域	処理場	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和2年度	令和元年度	
相模川	四之宮	1,673	1,715	△42 (97.6%)
	柳 島	2,688	2,841	△153 (94.6%)
	計	4,361	4,556	△195 (95.7%)
酒匂川	酒 匂	1,368	1,252	116 (109.3%)
	扇 町	196	180	16 (108.9%)
	計	1,564	1,432	132 (109.2%)
合 計		5,925	5,988	△63 (98.9%)

(注) 焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

※柳島：汚泥発生量に対して焼却灰等処分量が減少した要因は、汚泥の性質が燃えやすいものであったため。

酒匂：汚泥発生量に対して焼却灰等処分量が増加した要因は、設備の点検による停止日数が増えたことにより、脱水汚泥での処分量が増えたため。

扇町：汚泥発生量に対して焼却灰等処分量が増加した要因は、酒匂で発生した汚泥を受け入れたため。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

オ 施設等の管理

定期的な健全度診断や調査結果に基づき、設備機器や幹線管渠について、適正な管理を行いました。

カ 設備機器の点検・補修等

精密点検基準等に基づき、設備機器について計画的に修繕を行いました。
また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

キ 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実に努めました。

ク 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査を実施するとともに、処理場周辺への臭気の影響及び放流水質の安全性を調査し環境保護に努めました。

(ア) 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

(イ) 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

< 敷地境界等臭気調査結果 >

流域	処理場	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	5 地点	10 未満～11	15
	柳 島	6 地点	10 未満	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

(ウ) クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び

放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

ケ 施設見学

小学校や自治会、地域の方々などを対象に、施設の案内や下水道の役割などの説明を行う施設見学は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため受入れを中止しました。

＜処理場施設見学者内訳＞ (人)

流域	処理場	行政機関	学生		一般	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	— (36)	— (144)	— (26)	— (33)	— (0)	— (239)
	柳 島	— (94)	— (1,361)	— (175)	— (106)	— (100)	— (1,836)
酒匂川	酒 匂	— (6)	— (189)	— (2)	— (48)	— (0)	— (245)
	扇 町	— (0)	— (213)	— (4)	— (15)	— (0)	— (232)
合 計		— (136)	— (1,907)	— (207)	— (202)	— (100)	— (2,552)

(注) () は、前年度の見学者数

コ 下水道ふれあいまつり

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう実施してきました「下水道ふれあいまつり」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

＜下水道ふれあいまつりの開催概要（中止）＞

開催年月日	令和2年10月31日（土）	
共催・協力	共催 神奈川県、下水道公社 協力 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 柳島水再生センター（柳島しおさい公園）	— 人 (四之宮：— 人)
	酒匂川流域 酒匂水再生センター（酒匂きらり広場）	— 人 (扇町：— 人)
計		— 人 (— 人)

(注) 来場者数の () は、前年度の実績 ※前年度は台風19号の影響で中止。

サ 水質規制支援業務

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、例年実施している研修会の

開催を見送り、代替手法として水質規制に関する資料配布や希望する 5 市町と合同で試行的に「ウェブによる水質規制に関するディスカッション」を実施しました。

また、流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査は、実施が見送られ支援することはできませんでしたが、水質異常時の原因究明調査や水質規制に関する相談・提案などの技術支援（アシスト下水道）は例年どおり行いました。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

<研修会の代替手法として水質規制に関する資料配布等を実施>

実施月	令和3年1月
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
内容	(1) 流域関連市町（22市町）へのアンケート調査 (2) アンケート結果に基づき、市町が希望する資料の作成・配布 (3) 希望する5市町と水質規制に関するディスカッション（試行）

b 事業場排水担当者研修会

<研修会の代替手法として水質規制に関するパンフレット配布等を実施>

実施月	令和2年11月
対象者	流域関連市町の事業場排水処理担当者
内容	(1) 事業場向けパンフレットの配布 「公共下水道を使用する工場・事業場の皆様へ」 (2) 水質規制用動画の作成、閲覧用チラシの配布 「公共下水道を利用する工場・事業場の自主管理について」

(イ) 水質規制技術支援業務（アシスト下水道）

<技術支援業務実施状況>

(件)

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	6 (16)	2 (4)	42 (37)	0 (25)	50 (82)
酒匂川	6 (2)	2 (3)	32 (29)	0 (12)	40 (46)
合計	12 (18)	4 (7)	74 (66)	0 (37)	90 (128)

(注) () は、前年度の実施回数

※特定事業場等の施設検査は、コロナ禍のため各市町ともに実施を見送った。

(ウ) パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、分かりやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事

業者の皆様にご利用していただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

＜特定事業場等水質調査業務受託概要＞

区分 年度 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	2	元	増減	2	元	増減	2	元	増減
相模川流域 関連市町	7	7	0	86	112	△26	4,626	7,228	△2,602
酒匂川流域 関連市町	7	6	1	46	41	5	1,975	2,585	△610
計	14	13	1	132	153	△21	6,601	9,813	△3,212

3 自主事業

多くの方に下水道への理解と関心を深めていただくための普及・啓発活動及び下水道関係者の知識や技術力の向上を目的とした研修を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となりました。

また、維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、調査研究を行いました。2件の調査研究については翌年度に延期しました。

(1) 下水道知識普及啓発事業

ア 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象に作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴い、小学校が長期休校し、授業カリキュラムが大幅変更を余儀なくされたことなどから、これらの実情を考慮し、作品募集を中止しました。

＜下水道作品コンクール表彰式＞

- ・開催日 : 令和3年2月13日(土)
- ・開催場所 : 茅ヶ崎市文化会館

＜作品応募・入賞数＞

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	— (124)	— (632)	— (3,002)	— (3,758)	参加学校数 : — (165) 参加市町数 : — (21)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、前年度の実績数

イ 下水道教室の実施

(ア) 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。なお、多くのイベントが中止となる中、下水道出張教室の実施校を増やすことで一層のPRに努めました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
30校 (23校)	84クラス (58クラス)	2,778人 (1,805人)

(注) () は、前年度の実績数

(イ) 夏休み下水道教室

県内在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを4回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	開催場所	実施日	参加者数
相模川	四之宮水再生センター	令和2年7月31日(金)	1人 (54人)
	柳島水再生センター	令和2年8月7日(金)	1人 (49人)
酒匂川	扇町水再生センター	令和2年7月23日(木)	1人 (34人)
	酒匂水再生センター	令和2年8月12日(水)	1人 (31人)
計			1人 (168人)

(注) () は、前年度の実績数

(ウ) 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、汚れた水をきれいにする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学び体験する講座に参加していただき、理解を深めていただくとともに、この講座では、授業の中で子供たちの理解と関心が高まるような情報や資料を提供しました。

<「下水道サポーター」講座実施結果>

開催場所	実施日	参加者数
四之宮	令和2年8月11日(火)	1人
扇町	令和2年8月18日(火)	5人

ウ 市町主催の環境イベント等への参加

流域関連市町が主催する環境に関するイベント等に参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割について PR する予定でしたが、予定していたイベントは全て中止になりました。

＜市町環境等イベント参加結果＞

前年度は、9市6町で実施 合計 6,453人

エ ホームページによる情報発信

汚れた水をきれいにする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用していただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

＜主な項目＞

- ▶下水道の維持管理
- ▶お知らせ
- ▶イベント情報
- ▶公社情報
- ▶入札情報

(2) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、研修会を3回予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止しました。

(3) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめました。

ア 調査研究実施概要

次の2項目について調査研究を行いました。

(ア) 焼却炉の焼結対策に関する検討（第2報）

実施所属	目的	結果
酒匂水再生センター	酒匂水再生センター焼却炉で発生した流動砂の焼結の原因究明のため、令和元年度に実施した調査のうち、汚泥のりん濃度及び焼結テストについて継続して調査を行い、季節変動等を把握しました。また、新たに2種類の流動砂についても	焼結は汚泥中のりんが関与し、その対策にはポリ鉄の注入が有効であることが分かっていることから、第2報では、継続してりん濃度の年間変動や焼結テスト、ポリ鉄の注入量を変動させた流動砂の内部構造等の確認を行ったところ、酒匂での焼

	<p>構造解析を行い、ポリ硫酸第二鉄（ポリ鉄）の有効な注入率を検証することにより焼結対策について検討しました。</p>	<p>結は、他都県の処理場に見られる煙道閉塞とは異なるメカニズムで発生すると推測される結果となり、有効な対策の確定には至りませんでした。</p> <p>なお、今回の調査などを通じて必要な対策を行うことで、焼結の進行による焼却炉の停止はありませんが、今後も新たな知見等の情報収集を行い、焼結対策の確定に努めることとしています。</p>
--	---	--

(イ) 維持管理情報の電子化とその活用

実施所属	目的	結果
<p>四之宮水再生センター</p>	<p>運転管理業務の効率化を図るため、四之宮水再生センターの維持管理データを電子化することにより、維持管理報告書の作成作業の省略化や集積した維持管理データによるライフサイクルコストの逡減など、期待される効果を検証しました。</p>	<p>これまで現場で紙媒体に記入し、その後パソコンに転記していた日常点検及び保守点検記録について、現場で直接タブレット端末に打ち込んだ結果、転記ミスや転記に費やしていた時間を縮減し、業務の効率化を図ることができました。</p> <p>引き続き、集積した維持管理データによるライフサイクルコストの逡減効果を検証するため、令和3年度も調査を継続することとしています。</p>

令和3年度に延期することとした調査研究

- ・ 流域関連市町の技術支援に関する検討
- ・ 重力濃縮槽等における硫化水素濃度について

イ 研究発表

(ア) 研究発表

インテックス大阪（大阪市）で予定されていた公益社団法人日本下水道協会主催の第57回下水道研究発表会は中止となりました。

(イ) 調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	調査研究報告書 (第 38 号)
掲 載 内 容	①流域下水道幹線の水質調査における安全対策に関する検証 ②水質異常時における活性汚泥適合試験に関する調査 ③焼却炉の焼結対策に関する検討

<管理部門>

1 職員の状況

(令和3年3月31日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	小柴義隆	1					1
業 務 部 長	川島由美子					1	1
業 務 部 次 長	西村佳裕				1		1
総 務 課 長	(小柴義隆)	8	1				9
企 画 課 長	川原俊彦	1		1		2	4
業 務 課 長	(川島由美子)		1	1	1	1	4
水 質 課 長	伊藤幹生					9	9
四之宮水再生センター所長	渡部宏則		1	4	3	4	12
柳島水再生センター所長	(西村佳裕)		2	4	4	3	13
酒匂水再生センター所長	和田安雄		1	2	2	2	7
酒匂水再生センター 扇町駐在事務所所長	五十嵐雄大			1	2	1	4
合 計		10	6	13	13	23	65

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(令和3年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	2	—	2
理 事	—	6	6
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(令和3年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	中村正樹	常勤	
常務理事	田代秀行	〃	
常務理事	鈴木仁	〃	
理事	重田真人	非常勤	厚木市 都市整備部長
〃	石塚俊彦	〃	伊勢原市 土木部下水道担当部長
〃	青木浩	〃	座間市 上下水道局長
〃	天津稔	〃	南足柄市 都市部長
〃	椎野文彦	〃	二宮町 都市部長
〃	府川博文	〃	山北町 参事兼上下水道課長
監事	武井正純	非常勤	藤沢市 下水道部 参事兼下水道総務課長
〃	猪鼻久義	〃	公認会計士・税理士

エ 評議員一覧表

(令和3年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	小林久司	非常勤	自由が丘産能短期大学 能率科 学科長
〃	伊與亨	〃	北里大学 医療衛生学部講師、 博士、技術士(衛生工学部門)
〃	石原朗	〃	相模原市 都市建設局 下水道部長
〃	小林岳	〃	平塚市 土木部長
〃	石井謙司	〃	小田原市 下水道部長
〃	大竹功	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	加藤康介	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	鈴木慎一	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	福島温	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

- (第1号議案) 令和元年度事業報告書及び決算報告書
- (第2号議案) 評議員会の決議の省略の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条第1項による理事会への報告の省略

理事会への報告の内容

- (1) 第6期経営改善計画 令和元年度実績状況報告書
- (2) 令和元年度第3回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日
令和2年6月10日(水)

<第2回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

- (第1号議案) 理事長及び常務理事の選定の件
- (第2号議案) 事務局長の選任の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条第1項による理事会への報告の省略

理事会への報告の内容

- ・専決処分事項の報告(常勤役員の賞与の特例に関する規程、職員給与規程の一部を改正する規程)

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日
令和2年6月25日(木)

<第3回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

評議員会の決議の省略についての承認の件

理事会の決議があったものとみなされた日

令和2年8月24日（月）

<第4回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

（第1号議案）令和3年度事業計画書

（第2号議案）令和3年度収支予算書

（第3号議案）役員賠償責任保険契約の締結の件

（第4号議案）公益財団法人神奈川県下水道公社組織規程の一部を改正する規程

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条第1項による理事会への報告の省略

理事会への報告の内容

(1) 専決処分事項の報告（令和2年度収支補正予算書、規程の一部改正）

(2) 規程の一部改正（予定）

(3) 第6期経営改善計画〔2019年度～2023年度〕の数値目標の一部変更について

(4) 令和2年度第1回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日

令和3年3月25日（木）

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人
神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

- (1) (第1号議案) 令和元年度計算書類の承認の件
- (2) (第2号議案) 任期満了に伴う理事の選任の件
- (3) (第3号議案) 評議員の選任の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第195条による評議員会への報告の
省略

評議員会への報告の内容

- (1) 令和元年度事業報告書
- (2) 令和元年度収支補正予算書
- (3) 令和2年度事業計画書及び収支予算書
- (4) 第6期経営改善計画 令和元年度実績状況報告書

評議員会の決議及び評議員会への報告があったものとみなされた日
令和2年6月25日(木)

<第2回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人
神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

評議員の選任の件

評議員会の決議があったものとみなされた日
令和2年9月1日(火)

5 情報公開

当社は、四之宮水再生センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。